



## からから vol.1 表紙写真紹介

〈初夏の山里〉5月下旬 午前8時 山梨県 富士吉田市 農村公園

左右均等に裾野を伸ばした調和の美、アヤメが咲いて、畦道の芝桜は今は満開のピンク。青空に白雪の山頂。理想的な富士山の写真だが、地球温暖化の影響か、今では出逢える事自体が奇跡に近い。これを撮った年以降はアヤメを見なくなった。かってこんな美しい景色があったとされないように、自然に感謝し自然を生かすライフスタイルが求められている。初夏の山里。宝物。富士は日本一の山。

東日本大震災から7年の間に見聞きした様々な事、人々の思い、復興の様子、現地の訪問、日々を追われた記憶の薄れ、立ち上がった人たちの姿、故郷から移住し帰れない人々、戻って新しく歩み始めた人々、報道されない事実も多くある事…。それらの事をここでは書き切れません。言葉は事実の前では無力に近いからです。でもいつも皆さんが今を超えて、光のある方へ進む事を信じています。

私は品川区にときめきの富士アートサロンを開設しています。全国からときめきの富士に心を寄せる方が遊びに来て、寛いで下さる癒しのサロンになっています。ここを造ってもう18年が過ぎました。あの東日本大震災が遭った時、一帯は大騒ぎになり、人々がわあっと道路に降りてきました。ビルの各階の什器備品はことごとく倒れましたが不思議な事に、一階にあるサロンの神棚も飾ってある写真も何1つ倒れませんでした。

私は北陸の福井県で生まれ育ちました。生まれる前には米軍の大空襲、幼少の頃には福井地震があり、その傷も癒えない数年後に台風の大洪水の被害に遭ったのを、おぼろげながら覚えています。父も母も今を生きるのに必死でした。

大人になり、日本各地で自然災害が起きる度に痛感して来た事があります。災害は都市よりも日本の原風景である自然に溢れた農漁村や山間で多く発生し、自然と共生している人達が大きな被害に遭ってしまう。自然に対する感謝や作物への慈しみのある田舎が災害で壊されてゆく。或いは平穏な町での生活が予想もしない災害で破壊され、移住を余儀なくされて帰るにも帰れない。経済的な負担も二重

となり先の見通しも立たない。神様はどうしてこんな事をするの？

生きてると色々な事がありますね。今から22年前、ときめきの富士を天職と決め写真家として歩み始めてからは学びの連続でした。ご縁のあったお客様から富士山にまつわるお話を伺ったのでその内の1つを紹介します。

## 視点を変える

その方は2年前の熊本地震で家屋が壊滅的な被害を受けました。家は傾き、脱水洗濯機の中をぶちまけた様な状態になり、殆どの家財や高級品は使い物にならなくなりました。地震保険と県の対応も早かったので数ヶ月後に家の立て直しに入りました。その時に心に深く感じる事がありました。

片付けや廃棄をしながら生活をしている中で、「あー私達は何と多くの無駄な物に囲まれて生きて来たんだろか。」「今まで持っていた物を手放せ」と神様に言われたんだと悟りました。そう思うと、物の無い今の空間は何と気持ちが良い事か。大災害のお陰で大切な事に気付かされました。

嬉しい事に大きな富士山の写真だけは傷まずに残っていたので新しく玄関に飾ったら、孫達が毎朝元気に「富士山、行って来ます!」と言って学校に行くんです。明るい孫達を見ていると思ひ知らされます。人生色々、でも基本は前向きに行こう。家も壊れ財産をなくして失意のどん底だったけれど、方向転換の好機到来だと気持ちを切り替えました。

いい事も辛い事も私を選んで事実が起きているんだ。逃げるか乗り切るかは私次第なんだと。全て

は通過点と受け止めよう。もう一回、やり直そう。倒れても立ち上がった人はその前よりも強くなってる筈だと聞いた事がある。天寿を全うするまで健康でいて夢を実現しよう。そう二人で決めました。

## 富士山が教えてくれる

私の富士山には頭に[ときめき]が付いています。富士山を見ると嬉しい、見えたら人に話したくなる、勇気が出る、自然と感謝の気持ちが湧く、何かいい事が起きそうだ…。そんな気持ちを一言で表わそうと思っていて、辿り着いたのがこの言葉です。

ときめきの富士。それは富士山が私を呼んで見せてくれた未知の光景、その1つ1つには富士山からのメッセージがあると、感じて下さる方も多いのです。

絵葉書や作品の背にその時に浮かんだ言葉を書き続けています。お客様から教えて頂きたい言葉も入っています。そしたら私にぴったり!勇気付けられた!と皆さんに喜ばれていますので幾つかを紹介します。もちろんこのメッセージの1つ1つに、色々な出来事と学びの裏付けがありますが、その個々の紹介はまた次の機会に。



【黄金の海】  
朝の雲海と富士山がゴールドになった。雲海の左中央に「父母」の文字が浮かび出た。

## 富士山が無言で教えてくれた 10のメッセージ

- 過去を悔やまず、未来を恐れず、今を堂々と!
- 陽は又昇る。頑張れもう一息、あと一踏ん張り。
- 命と健康があれば何でも出来る。さあ今から!
- 心が世界を創る、明るい言葉、いつもニコニコ。
- 行き詰まったら考えず、天に任せて一眠り。
- 信じる限界が現れる限界。意志ある処に道あり。
- いのち輝き日々元気。生きる力。心の輝き。
- 無類の頑張り屋さん。天がついてる守ってる。
- 大いなる光に生かされている。あなたならこそ。
- 感謝無限大

高く天に伸びる頂は夢と志、裾野を伸ばした左右対称の美しい形は調和とお陰様の姿です。心の中に朝陽と富士山を描くと好転するよと皆さんが伝えてくれました。共感する多くの方にとときめきを届ける事、それが私の天命と受け止め、いつも富士山の呼ぶ声を聞いて逢いに行っています。



写真・文/  
ロッキー田中  
(Rocky Tanaka)  
ときめきの富士の写真家

27年間のサラリーマン生活に別れを告げ、生涯に99作の[ときめきの富士]を世に出す事に夢を託す唯一の写真家。富士山から呼ばれる写真家でもある。ときめきの富士は現在までに96作が完成し、多くの人の元で輝いている。人々との喜びの共感を生きがいとし、品川区のサロンと山麓のアトリエには訪れる人が絶えない。洞爺湖サミット、世界遺産登録にも貢献した。HPはロッキー田中、又はときめきの富士で検索出来る。